

**弘前市**  
**介護予防・日常生活圏域**  
**ニーズ調査結果報告書**

令和2（2020）年3月

青森県 弘前市



# 目 次

<b>第1章 調査の実施概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
(1) 介護予防・日常生活支援調査.....	3
3 電算処理および報告書の記載方法.....	4
(1) 電算処理.....	4
(2) 報告書の記載方法.....	4
4 調査票の配布と回答状況.....	4
(1) 有効回答者数と回答率.....	4
(2) 有効回答者の属性.....	5
5 地域課題のまとめ.....	8
(1) 「第一圏域」の課題.....	9
(2) 「第二圏域」の課題.....	10
(3) 「第三圏域」の課題.....	11
(4) 「東部圏域」の課題.....	12
(5) 「西部圏域」の課題.....	13
(6) 「南部圏域」の課題.....	14
(7) 「北部圏域」の課題.....	15
<b>第2章 一般高齢者調査結果</b> .....	<b>19</b>
1 あなたのご家族や生活状況について.....	19
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況.....	19
(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無.....	20
(3) 現在の経済状況.....	21
(4) 現在の住居環境.....	22
2 からだを動かすことについて.....	23
(1) 運動機能の状況.....	23
(2) 外出の状況.....	26
3 食べることについて.....	31
(1) 現在の体重（BMI）状況.....	31
(2) 歯・口腔の状況.....	32
(3) 食事の状況.....	35
4 毎日の生活について.....	36
(1) IADL（手段的自立度）の状況.....	36

(2) 社会参加（知的能動性）の状況 .....	39
(3) 社会参加（社会的役割）の状況 .....	41
(4) こころの健康状態 .....	42
(5) 物忘れの状況 .....	44
5 地域での活動について .....	47
(1) グループ活動等の状況 .....	47
(2) 地域づくりに対する参加意向 .....	50
(3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援 .....	52
6 たすけあいについて .....	54
(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手 .....	54
(2) 友人・知人との交流状況 .....	57
7 健康について .....	59
(1) 健康状態 .....	59
(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係 .....	59
(3) 通院の状況 .....	62
8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について .....	63

### **第3章 要支援者調査結果 .....**

1 あなたのご家族や生活状況について .....	67
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況 .....	67
(2) 日常生活における要介護（介助）者の有無 .....	68
(3) 現在の経済状況 .....	69
(4) 現在の居住環境 .....	70
2 からだを動かすことについて .....	71
(1) 運動機能の状況 .....	71
(2) 外出の状況 .....	74
3 食べることについて .....	79
(1) 現在の体重（BMI）状況 .....	79
(2) 歯・口腔の状況 .....	80
(3) 食事の状況 .....	82
4 毎日の生活について .....	83
(1) IADL（手段的自立度）の状況 .....	83
(2) 社会参加（知的能動性）の状況 .....	86
(3) 社会参加（社会的役割）の状況 .....	88
(4) こころの健康状態 .....	89
(5) 物忘れの状況 .....	91
5 地域での活動について .....	93

(1) グループ活動等の状況.....	93
(2) 地域づくりに対する参加意向.....	95
(3) 地域でできる支援と地域生活に必要なサービスや支援.....	97
6 たすけあいについて.....	99
(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手.....	99
(2) 友人・知人との交流状況.....	102
7 健康について.....	103
(1) 健康状態.....	103
(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係.....	103
(3) 通院の状況.....	105
8 生活状況の変化に伴う暮らしの場について.....	105
<b>第4章 日常生活圏域別地域分析.....</b>	<b>109</b>
1 “5つの高齢者像” からみた地域分析.....	110
2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差.....	112
(1) 介護予防事業対象者の状況.....	112
(2) リスクに該当する高齢者の状況.....	113
(3) 生活支援事業対象者の状況.....	117
(4) 生活支援を担う元気高齢者の状況.....	118
3 認知症高齢者に関する出現率と地域差.....	119
(1) 認知機能低下者の状況.....	119
4 地域資源等の把握.....	120
(1) 地域活動への参加状況.....	120
(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	124
(3) 社会参加と生きがい.....	128
(4) 高齢者の公共交通機関の利用状況.....	132
5 健康について.....	134
(1) 高齢者の健康感や幸福感.....	134
(2) 誰かとともに食事をする頻度.....	136
<b>資料編.....</b>	<b>141</b>
1 電算処理の判定条件等.....	141
2 アンケート調査票.....	146
(1) 介護予防・日常生活圏域二エズ調査.....	146



# 第1章

## 調査の実施概要





## 第1章 調査の実施概要

### 1 調査の目的

「弘前市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたって、高齢者の生活実態について、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を把握することが必要です。

高齢者の実態を把握することでサービス提供体制を検討し、また、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用するなど、地域共生社会に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとともに、その基礎資料を得ることを目的としています。

### 2 調査の内容

#### (1) 介護予防・日常生活支援調査

要介護認定を受けていない高齢者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定に資することなどを目的としています。

からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査します。

調査対象者	令和元年11月19日現在、弘前市に居住する65歳以上の一般高齢者及び要支援1・2認定者（要介護1～5認定者を除く）5,500人を無作為抽出	5,500人
調査方法	令和元年12月12日～令和元年12月27日 対象者へ郵送にて調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	9設問
	2 からだを動かすことについて	14設問
	3 食べることについて	11設問
	4 毎日の生活について	24設問
	5 地域での活動について	5設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	9設問
	8 その他	1設問
	設問数合計	81設問

※調査票は資料編に掲載しています。

### 3 電算処理および報告書の記載方法

#### (1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、一般高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能低下者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

#### (2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、各種テーマごとに関連する設問を集約し、分析を行っているために調査票の設問番号順の記載になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳ずつの年齢階級で記載していない場合や、年齢と関係なく病気や障害等の要因で悪化していることが多い要支援認定者は記載していない場合があります。

報告書に記載している用語について、「一般高齢者」は要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」、要介護認定者は「要介護者」として略称を用いています。

### 4 調査票の配布と回答状況

#### (1) 有効回答者数と回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

圏域名	調査対象者数(人)	調査票の配布数(人)	有効回答数(人)	有効回答率(%)
市全域	46,466	5,210	3,509	67.4
第一圏域	6,907	810	546	67.4
第二圏域	5,641	660	427	64.7
第三圏域	8,867	700	688	98.3
東部圏域	6,027	530	440	83.0
西部圏域	3,582	660	271	41.1
南部圏域	11,246	1,320	878	66.5
北部圏域	4,196	530	259	48.9

(2) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

図 1.1 調査回答者別区分

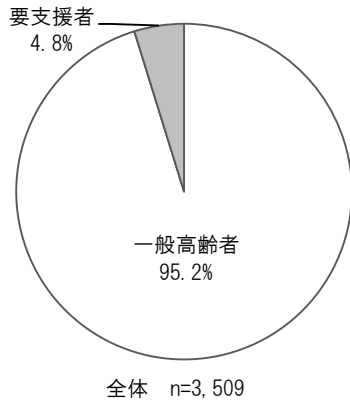


図 1.2 日常生活圏域別調査回答者

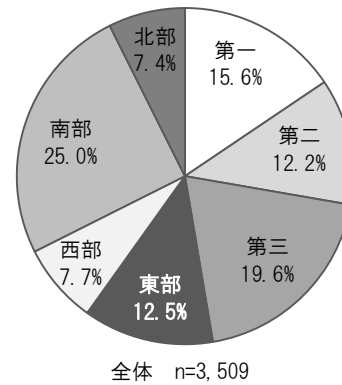


図 1.3 日常生活圏域別調査回答者（回答者区分別）

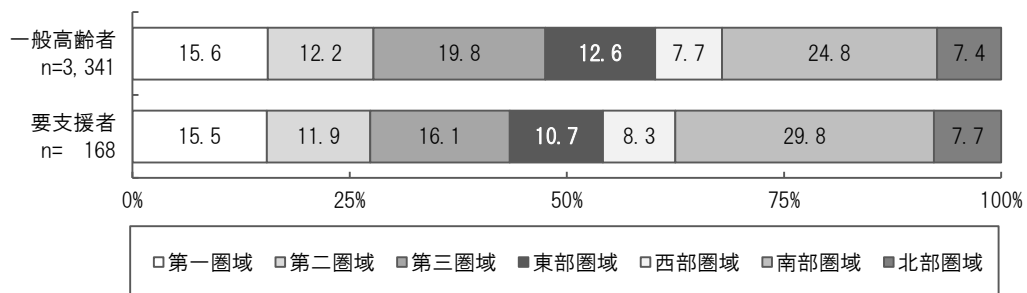


表 1.2 市全域の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	3,341	343	456	284	186	87	29	468	541	447	293	152	55
	100.0	10.3	13.6	8.5	5.6	2.6	0.9	14.0	16.2	13.4	8.8	4.5	1.6
要支援者	168	7	0	6	13	8	3	1	11	15	38	47	19
	100.0	4.2	0.0	3.6	7.7	4.8	1.8	0.6	6.5	8.9	22.6	28.0	11.3

表 1.3 「第一圏域」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
一般高齢者	520	54	69	45	28	9	4	82	81	75	43	24	6
	100.0	10.4	13.3	8.7	5.4	1.7	0.8	15.8	15.6	14.4	8.3	4.6	1.2
要支援者	26	3	0	3	1	2	2	0	2	0	4	6	3
	100.0	11.5	0.0	11.5	3.8	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	23.1	11.5

表 1.4 「第二圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	407	38	51	43	25	8	4	53	67	55	44	12	7
	100.0	9.3	12.5	10.6	6.1	2.0	1.0	13.0	16.5	13.5	10.8	2.9	1.7
要支援者	20	0	0	0	3	2	0	0	3	2	4	6	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	0.0	0.0	15.0	10.0	20.0	30.0	0.0

表 1.5 「第三圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	661	58	90	46	36	26	7	99	104	93	55	33	14
	100.0	8.8	13.6	7.0	5.4	3.9	1.1	15.0	15.7	14.1	8.3	5.0	2.1
要支援者	27	2	0	0	1	1	1	0	1	0	7	8	6
	100.0	7.4	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	25.9	29.6	22.2

表 1.6 「東部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	422	39	59	32	30	9	4	60	70	63	37	12	7
	100.0	9.2	14.0	7.6	7.1	2.1	0.9	14.2	16.6	14.9	8.8	2.8	1.7
要支援者	18	0	0	1	1	0	0	0	1	2	4	7	2
	100.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	22.2	38.9	11.1

表 1.7 「西部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	257	31	36	19	9	5	3	32	47	27	29	14	5
	100.0	12.1	14.0	7.4	3.5	1.9	1.2	12.5	18.3	10.5	11.3	5.4	1.9
要支援者	14	1	0	1	1	0	0	1	2	2	3	2	1
	100.0	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1

表 1.8 「南部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	828	98	120	71	48	18	3	111	135	101	68	43	12
	100.0	11.8	14.5	8.6	5.8	2.2	0.4	13.4	16.3	12.2	8.2	5.2	1.4
要支援者	50	0	0	1	4	3	0	0	2	8	13	15	4
	100.0	0.0	0.0	2.0	8.0	6.0	0.0	0.0	4.0	16.0	26.0	30.0	8.0

表 1.9 「北部圏域」の性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

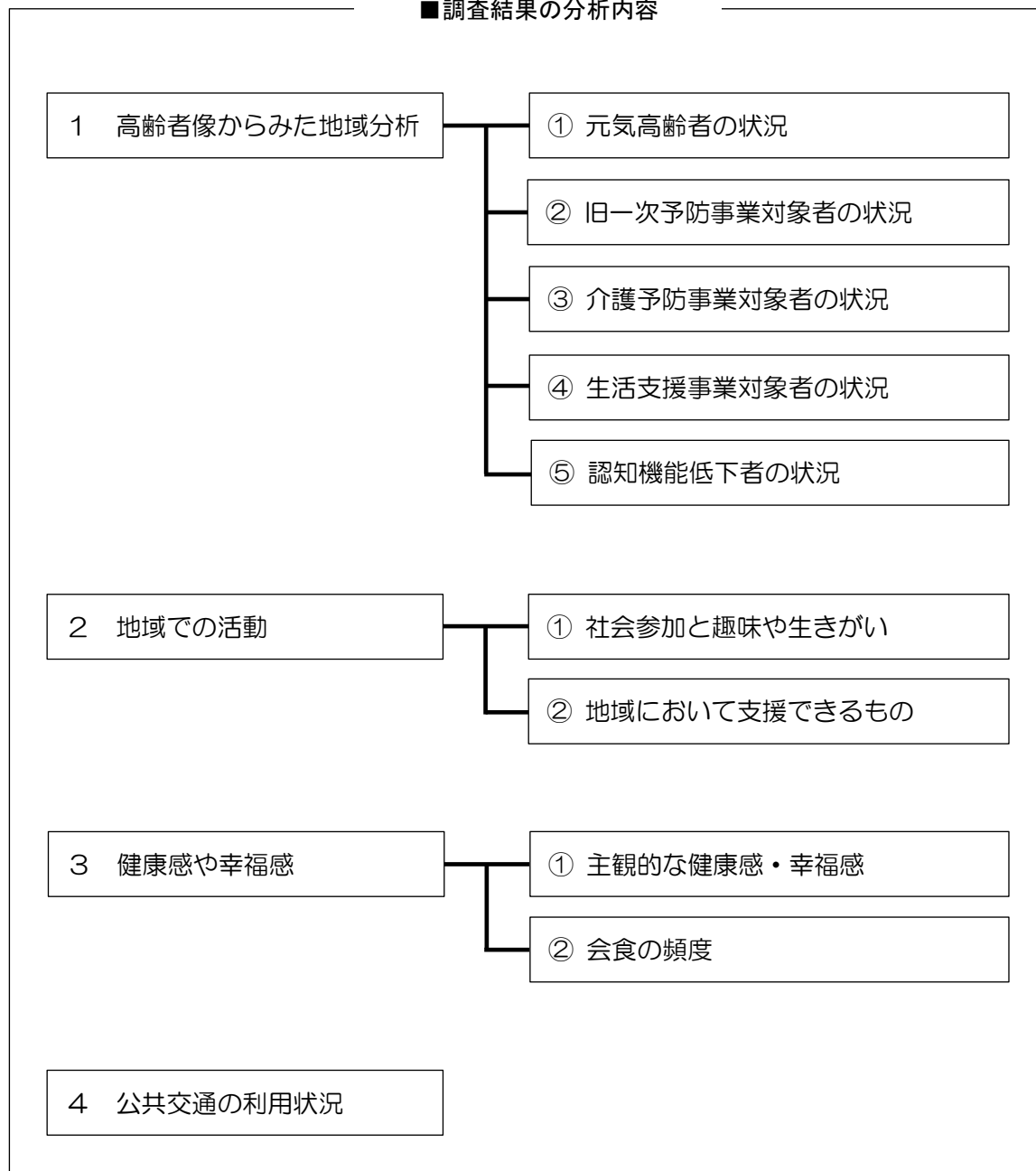
調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	246	25	31	28	10	12	4	31	37	33	17	14	4
	100.0	10.2	12.6	11.4	4.1	4.9	1.6	12.6	15.0	13.4	6.9	5.7	1.6
要支援者	13	1	0	0	2	0	0	0	0	1	3	3	3
	100.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	23.1	23.1

## 5 地域課題のまとめ

本市の地域課題の抽出にあたっては、要介護認定者を除く一般高齢者と要支援者の方々の調査結果から市平均値等を算出し、7つの圏域の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、市平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各圏域が市平均値までに改善またはそれ以上に改善ができるための施策を検討できる調査報告書として作成しました。

### ■調査結果の分析内容



## (1) 「第一圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より5.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より7.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より19.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より7.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能低下者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より7.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と趣味や生きがい	○要支援者で地域活動への参加希望割合が市平均値より9.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「ボランティアのグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より7.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○要支援者で「町内会・自治会」への参加者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいない」が市平均値より1.6・4.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において支援できるもの	○地域住民(一般高齢者)が行う「掃除・洗濯」「外出同行(通院、散歩など)」「ゴミ出し」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	○特に課題等は見当たりません。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より1.0 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○要支援者の公共交通利用率が市平均値より2.2 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (2) 「第二圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4・0.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.1・7.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より0.7・11.5 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より0.1・7.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「ボランティアのグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より2.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より3.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「掃除・洗濯」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
	会食の頻度	○要支援者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より13.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。



## (3) 「第三圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.5ポイント低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より8.4ポイント高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.2ポイント高い。
	認知機能 低下者の状況	○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.2ポイント低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より3.3・5.0ポイント低い。 ○要支援者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より1.1ポイント低い。 ○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.5ポイント低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より1.1ポイント低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より0.5ポイント低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいない」が市平均値より3.5ポイント高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より2.7・9.8ポイント高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「掃除・洗濯」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○特に課題等は見当たりません。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。

## (4) 「東部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より1.5 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 高い。要支援者はいない。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より14.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.0・8.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より1.0・14.8 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○要支援者の出現率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域活動への参加希望割合が市平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「趣味関係のグループ」への参加者はいない。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より7.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○要支援者で「町内会・自治会」への参加者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「買い物代行」「見守り・声かけ」「外出時の送迎」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.7点低い。
	会食の頻度	○要支援者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。

## (5) 「西部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より2.5 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より5.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より2.4・6.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より11.2・3.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より5.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より5.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への参加希望割合が市平均値より6.7・18.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より9.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より2.1 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より5.0 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より8.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より2.8 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○要支援者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より11.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「老人クラブ」への参加者はいない。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より4.0 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「外出同行（通院、散歩など）」「サロンなど、通いの場のサポート」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.3点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より12.8 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (6) 「南部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より1.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より0.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.2・1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.5・1.6 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より1.0・4.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より3.5・1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者で出現率が市平均値より1.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が市平均値より1.0・4.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○要支援者で地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より1.2・0.8 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より1.6・1.7 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より0.8・0.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいない」が市平均値より0.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」が市平均値より1.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「調理」に関する支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より2.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.6点低い。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。

## (7) 「北部圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より3.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より4.8 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より6.2・17.9 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より1.2 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より10.2・15.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能 低下者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より3.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への参加希望割合が市平均値より5.9・1.9 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに地域活動への世話役としての参加希望割合が市平均値より3.4・1.0 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より3.2 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より11.6 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より9.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「学習・教育サークル」への参加率が市平均値より3.9 <sup>ポイント</sup> 低く、要支援者はいない。 ○一般高齢者と要支援者ともに「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より0.7・3.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が市平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者の就業率が市平均値より3.4 <sup>ポイント</sup> 低い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う支援割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より2.7 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市平均点より0.2点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かと食事することがほとんどない」の割合は市平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○一般高齢者と要支援者ともに公共交通利用率が市平均値より18.8・6.0 <sup>ポイント</sup> 低い。